

徳島県地域防災計画の見直しについて

見直しの現状

- 毎年開催している徳島県防災会議で必要に応じ見直しを実施してきた
- 東日本大震災は未曾有の大災害であり、これまでに経験したことのない新たなリスクが認識され、抜本的な見直しが必要
- 本県では、有識者による「徳島県地震津波減災対策検討委員会」を設置し、東日本大震災の教訓を踏まえ、これまでに「中間取りまとめ」や防災拠点施設、避難所等の「防災・減災対策に係る総点検」を行ったところ

見直しの方針

- 国の防災基本計画の見直しを反映
- 徳島県地震津波減災対策検討委員会のとりまとめ等を反映
- 徳島県地震防災行動計画の見直しを反映
- 関西広域連合 防災・減災プランを反映
- 今後も、今年公表される被害想定をはじめとした大震災を踏まえた各種見直しを反映

見直しのポイント

- 現行の「震災対策編」を「地震・津波対策編」とし、内容を「三連動地震対策」と「直下型地震対策」に分けて記述
- 主な項目として、津波対策、避難所対策、備蓄物資・燃料対策、被災市町村への支援、応援・受援体制等を見直し
- 今後、国の指針等を踏まえ「原子力災害対策計画」を「一般災害対策編」に追加

今後の予定

平成 24 年

2月16日

徳島県地域防災計画見直し説明会

徳島県地域防災計画見直し方針を防災会議幹事に説明

・庁内各部、防災関係機関に修正項目の検討・見直しを依頼

～徳島県地域防災計画 修正素案の作成～

5月頃

防災関係機関に素案について意見照会

6月上旬

徳島県防災会議幹事会 修正素案

6月下旬

徳島県防災会議 修正素案

市町村への修正素案の周知

秋ごろ

徳島県防災会議 計画修正

市町村へ新たな地域防災計画の周知

～今後も各種見直しを踏まえ、継続的に修正を行う～